

# 行動 吉住はるお

## 区政レポート 平成29年新春号



# 人にやさしいまちづくりを！

**新宿区都市マスタープラン（都市計画）の見直しについて**

私は、ここ数年、高齢者の方や車いす利用者の方などから「歩道の切り下げが急だ」とも通行しづらい。「道路上のちようとした障害物でつまずき、転びそうになった。」「狭い道なのに、車が多く進入してきて怖い。」などのお話を伺う機会がとて増えているように感じています。

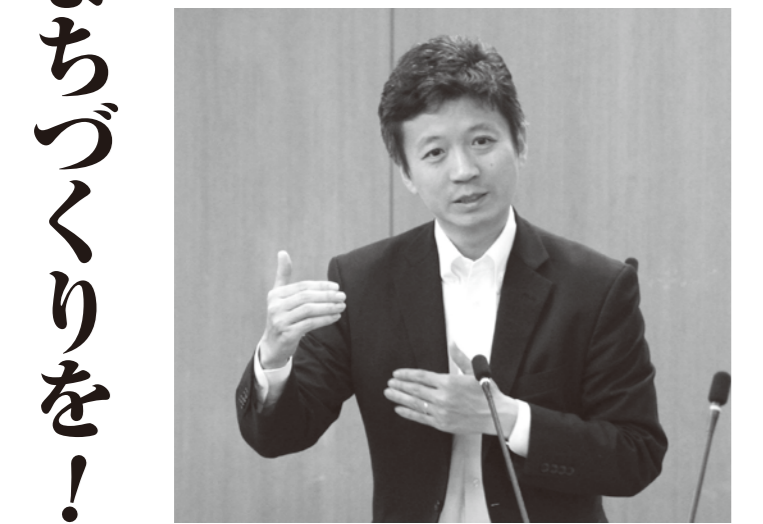
私は、今後の新宿区のまちづくりにおいて、より「層力を入れるべき課題として」人に

皆様には、お健やかに新春をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

皆様のおかげさまで、私も新宿区議会議員として10年目を迎えようとしています。

ますます精進してまいりますので、今後とも御指導のほどよろしくお願い申し上げます。

**平成28年 第3回定例会決算特別委員会 総括質疑**



**「道路のバリアフリー化と無電柱化整備」について**

これまでも新宿区では、交通バリアフリー基本構想に基づいた重点地区と2020年オリンピックパラリンピックを見据えた駅周辺の整備、また、区内全域における歩行空間

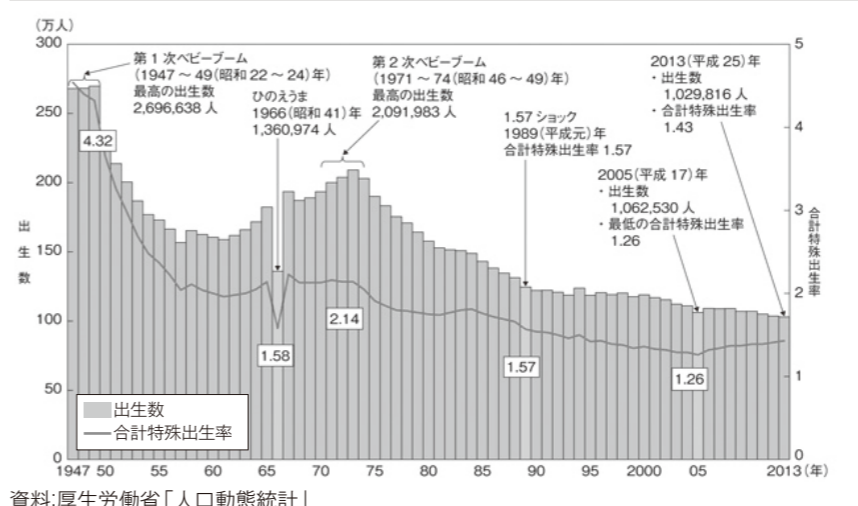
の確保、段差の解消、視覚障害者用誘導プロックの設置等に取り組んでこられていることは承知していますが、今後、一層、高齢者や車いす利用者等にやさしい道づくりを強力に推進することが重要だという視点に立ち、お伺いいたします。これまでの新宿区の「区道のバリアフリー」化の取り組み状況と成果について、そして、今後の課題などについてもお答え下さい。また、道路の無電柱化整備については、国では、2020年の東京オリンピックパラリンピックに向け、本年4月より「電線等の埋設に関する設置基準」の緩和を行い、先日の新聞記事によれば、本年度これから予定される補正予算の中で、無電柱化のために数十億円の事業費を確保することです。また、東京都においても以前よ



# 在宅子育て家庭の支援充実も！

国では、平成2年のいわゆる1・57ショックを受け、平成6年のエンゼルプランの策定に始まり、これまで様々な計画や法令を整え、多くの予算をかけて少子化対策に取り組んできました。

そして、その取り組みの中で、常に重点的に取り組まれてきたものに新宿区も積極的に取り組む保育サービスの充実、待機児童解消があります。厚生労働省が本年6月5日発表した平成26年の人口動態統計によると、合計特殊出生率は1・42となり、9年ぶりに低下したとのことです。少子化対策としては、これまで



の国や地方自治体の取り組みが十分に効果を出しているとは言えない状況だと思えます。また、「東京ブラックホール化」という言葉も耳にしますが、全国で最も保育園等の数が多い、23区が競って整備を推進している東京都の合計特殊出生率が全国でもっとも低いというのが現実です。

国も地方自治体も今までの取り組み

資料:厚生労働省「人口動態統計」

みに固執するのではなく、違った視点でも少子化対策に取り組む必要があるのではないのでしょうか。少子化の主原因としては、晩婚化と未婚化があるとされますが、子どもを産み育てたいと思う全てのご家庭のニーズを的確に捉えて対応することが、少子化対策に効果があるのではないかと考えます。

国立社会保障・人口問題研究所が女性に対して行った調査によると、「子どもが3歳くらいまでは、母親は仕事を持たず育児に専念した方が良い」の賛成割合は、減少傾向にはあるものの平成25年に実施された最新の第5回調査においても全体で77・3%あり、最も年齢の低い「29歳以下」にあつても63・5%が賛成しているとのこと。

私は、あえて男女を問わずと言わせて頂きますが、家庭を持ち、自分の子供を持つのであれば、特に0歳から2歳くらいまでの乳幼児期は出来ることなら在宅で子育てをしたいと思う方もかなりの割合でいるのではないかと考えています。

新宿区が、乳幼児期における在宅子育て家庭をより積極的に支援する

ことにより、より良い子育て支援、少子化対策になるのではないのでしょうか。

これまで新宿区は、待機児童解消に向けた取り組みについて、23区の中でもかなり力を入れて取り組んできました。また、今後も積極的に続けていくわけですが、保育所などの運営費には、区の一般財源も多く投入されていることもあり、新宿区に長く在住されている方への配慮も必要だと感じています。少子化対策の日本社会全体の課題としては、育児休業の延長や子育てをした人々の職場復帰を応援する等、様々な課題がほかにあります。より積極的に乳幼児期の在宅子育て支援にも力を入れて行くことが、ひいては、待機児童減少にもつながるのではないのでしょうか。

〒160-8484  
新宿区歌舞伎町1-4-1  
自由民主党新宿区議会議員団  
(発行人 吉住はるお)

事務所  
〒162-0838  
東京都新宿区細工町1-8  
ヴィラK2 302号室  
TEL: 03-3260-3104  
FAX: 03-3260-3107  
メール:  
yoshizumi-haruo@nifty.com